

九州地域 ICT 利活用調査研究活動概要

平成25年 6月24日(月)
一般社団法人 九州テレコム振興センター
(K I A I)



一般社団法人 九州テレコム振興センター
K I A I : Kyushu Island Alliance of ICT

九州地域 I C T 利活用調査研究活動概要

* K I A I における新たな調査研究活動として、平成22年度から活動を開始

地域にとって本当に必要とされている
I C T の利活用とは？

現状課題分析等

* 地域関係者と一緒に一定期間、継続して
下記事業を地域に密着して実施

地元住民等を交えたタウンミーティング等、
地域社会に踏み込んだ調査の実施

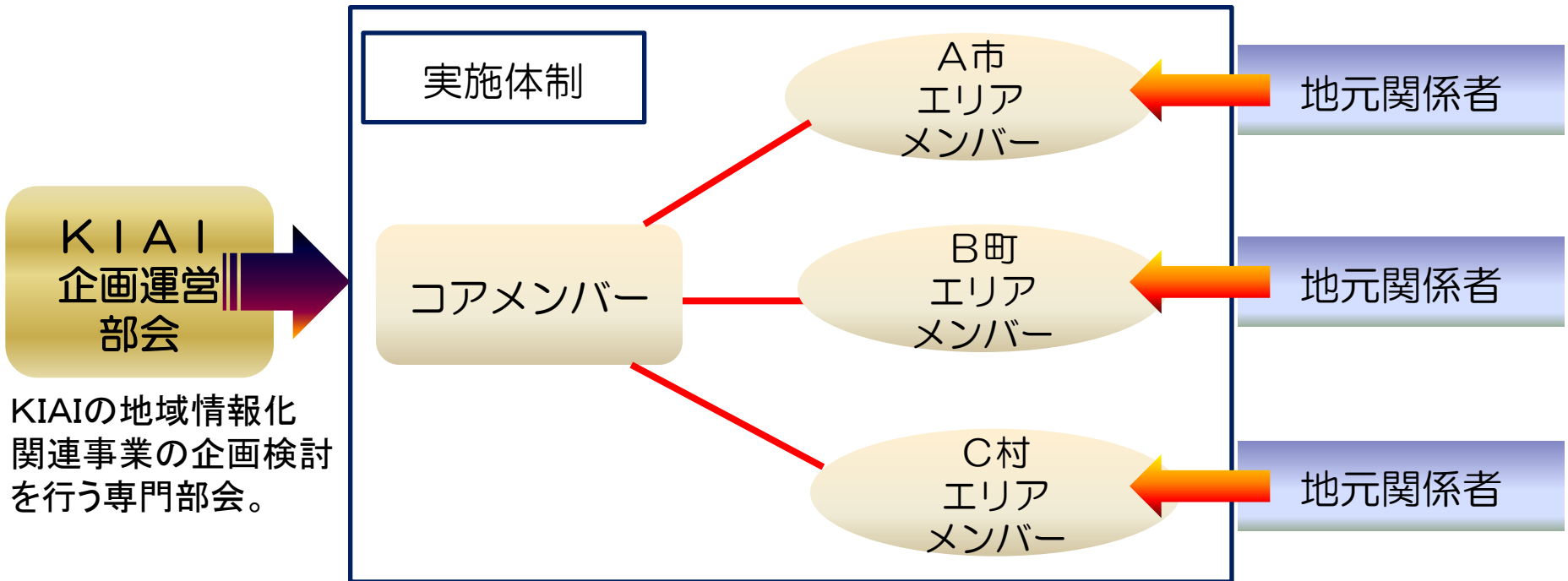
アンケートによる地域住民の意識調査

啓発イベント、シンポジウム等の実施


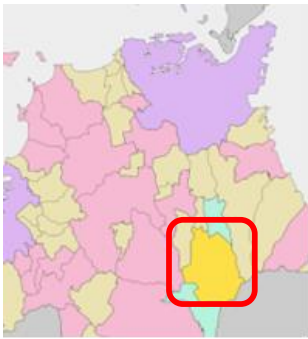



当該結果を幅広く公開
⇒九州地域の更なる I C T 利活用拡大支援

実施体制

- (1) コアメンバー：企画運営部会座長、九州経済連合会、九州総合通信局、K I A I 事務局
- (2) エリアメンバー：（調査対象地域の）K I A I 企画運営部会メンバー、自治体関係部署、その他 ICT 関連団体、地元キーマン等



現在の活動フィールド

	H25 年度新規	H24 年度～継続中	H23 年度～継続中	H22 年度～H24 年度	H22 年度～H24 年度
位置					
自治体名	宮崎県児湯郡西米良村	福岡県田川郡添田町	熊本県球磨郡湯前町	佐賀県佐賀市富士町	鹿児島県肝属郡肝付町
人口 (人)	1,260 人 (H25)	10,909 人 (H22)	4,379 (H22)	4,797 (H17)	17,156 (H22)
世帯数 (世帯)	603 (H25)	4,215 (H22)	1,515 (H22)	1,379 (H12)	7,495 (H22)
面積 (km ²)	272	132	48	143	308
人口密度 (人/km ²)	4.6 (H25)	83 (H22)	91 (H22)	34 (H17)	56 (H22)
高齢化率 (%)	41.8 (H25)	32.7 (H22)	33.1 (H22)	31.5 (H12)	34.5 (H22)
地勢	中山間地域	中山間地域	中山間地域	中山間地域	中山間地域 海岸地域有
自治体構成	市町村合併なし	市町村合併地域	市町村合併なし	市町村合併地域	市町村合併地域
国勢特色 (地域比較)	人口密度 低 高齢者率 高	人口密度 低 高齢者率 高	人口密度 高 高齢者率 高	人口密度 低 高齢者率 高	人口密度 中 高齢者率 高
情報通信 インフラ	光 公設公営 全戸敷設済み TV 電話端末設置	光 公設民営 契約後敷設	光 公設公営 全戸敷設済み 音声告知端末設置	CATV 民営 契約後敷設	光 公設民営 契約後敷設

肝付町活動概要(フェーズ1)

- ◆肝付町情報化推進研究会設置
- ◆タウンミーティング実施
- ◆住民アンケート実施
- ◆普及啓発イベント実施
- ◆町イベント動画配信体験実験



肝付町地域情報化基本計画
(概要版)



鹿児島県 肝付町

＊地域関係者に対する研究会活動の認知・理解
＊肝付町地域情報化基本計画策定を支援

肝付町活動概要(フェーズ2)

- ◆町イベント（高山やぶさめ祭り）LIVE映像配信本格化（地元コミュニティFM放送と連動）
- ◆肝付町情報発信塾（インターネットを活用した情報発信力向上に向けた教室）開講



* 町内の情報化推進の機運が高まり、今後の町の情報化をけん引するNPO法人設立へ

NPO法人きもつき情報化推進センターが設立



肝付町活動概要(フェーズ3)

◆肝付町からの総合的な情報発信機能を担うポータルサイト「きもつき情報局」がオープン



*設立されたNPO法人「きもつき情報化推進センター」が本ポータルサイトの運営（取材～コンテンツ制作～情報発信）を担う。

*きもつき情報化推進センターは、ポータルサイト運営の他「肝付町情報発信塾」等、地域全体の情報発信力向上事業も担う。

NPO法人の活動本格化により、肝付町情報化推進研究会の事業を同法人へ継承

湯前活動概要(フェーズ1)

- ◆湯前町ICT利活用勉強会設置
- ◆タウンミーティング実施
- ◆住民アンケート(全世帯対象)実施
- ◆普及啓発イベント実施
- ◆町イベントICT支援事業実施



ゆのまえ漫画フェスタ2011 (USTREAMでの映像配信、ICT体験ブース)
ゆのまえ潮おっばい祭り実行委員会参加 (祭りにおけるICT活用支援)



* 地域関係者に対する勉強会活動の認知・理解

* 勉強会における今後のICT利活用のターゲットを具体化

湯前活動概要(フェーズ2-1)

◆町イベント(ゆのまえ潮おっばい祭り)映像配信(Facebook連動)事業の開始

第7回 ゆのまえ潮おっばい祭り



祭り・イベント模様の映像配信継続化に向けた検討を本格化。
(祭りに来れない町内の高齢者等にも映像を配信できるように)

◆(商工会関係者に対する) Facebook活用による情報発信セミナー開講



地元商工会若手を中心にソーシャルメディアを活用した情報発信の手法について、ワークショップ形式のセミナーを開講。(継続実施中)

◆テレビ会議システムを活用したオンラインマンガ教室取り組み開始



京都精華大学(まんが学部:日本の大学で唯一まんが専門の学部がある大学)
～湯前中学校美術部生徒
(湯前町の新たな学校教育の取り組みとして本格導入を検討中)

湯前活動概要(フェーズ2-2)

◆湯楽里おっぱいリレー事業参画



「おっぱいリレー」
温泉・温浴施設でのピンクリボン運動の一環として行われている。人口乳房をつけた方（及びその家族）が普通に温泉・温浴施設を楽しめるよう、人工乳房が温泉成分や温度による変色や変形などが起こらない、という点について、全国各地の温浴施設への周知と人工乳房の安全性を確かめてもらうための活動。

「湯楽里」の今後の新たな事業展開に寄与する一環として本事業への参画を支援するとともに、実際の参画の様様をソーシャルメディアを活用してPR。

【写真】おっぱいリレー参加の様様をインターネットLIVE配信

◆湯前町インターネット相談会開催



インターネット教室等になかなか足が向かない高齢者等を対象に、具体的に公民館の中に相談窓口を設け、結果として、敷居の低いインターネット教室を開催することができた。相談に来られた地域住民の数自体は僅かだが、大変好評であり、継続的な取り組みを検討中。

*湯前町ならではの地域資源（地域特性）に即した、継続的实施が可能なICT利活用事業の絞り込み

*当該事業を担う地域としての仕組みづくり構築に向けた検討

湯前活動概要(フェーズ3)

平成25年度活動計画主要項目

◆情報発信力向上・情報発信関係の地域コミュニティ形成

- ゆのまえおっばい祭り映像配信
町内数か所にパブリックビューイングを設ける等、地域外だけでなく、地域内に向けての情報発信という新たな観点も導入し、事業の継続化を図っていく
- 湯楽里におけるピンクリボン運動情報発信支援
おっばいリレーに参加した湯楽里の今後のピンクリボン運動に関する情報発信支援を継続実施
- 風刺漫画大賞作品のWeb化
湯前町ならではの取り組みである風刺漫画大賞に関して、過去の受賞作品を全てWeb化し、幅広く公開することで、湯前町からの新たな情報発信を図る。
- インターネット利用相談会の継続開催
リテラシー向上だけでなく、相談会を通じた新たなコミュニティ形成にもつなげていく。

◆教育現場へのさらなる展開

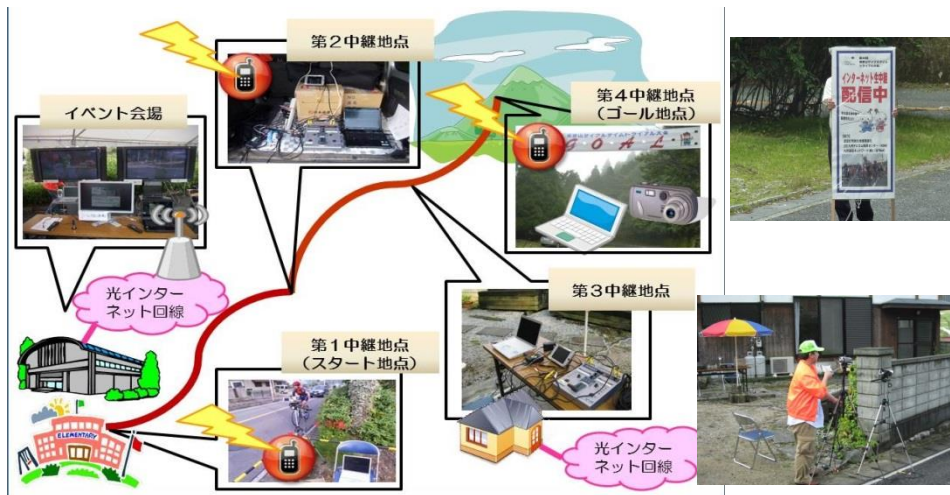
- M I E (Manga in Education = 「エム・アイ・イー」) 事業の発足検討
これまで取り組んできたオンライン漫画教室をさらに発展させ、湯前町ならではの地域コンテンツである「風刺漫画」作成を、ICTを効果的に活用しながら授業に取り入れて行く試みを検討する。
- 学校教育現場へのピンクリボン運動の展開
湯前町の地域資源である「おっばい神社」と関連し、湯楽里でスタートとしてピンクリボン運動を学校教育現場にも展開し、町全体として盛り上げていくとともに、本件の効果的な情報発信を図ることで、湯前町の更なるPRにつなげていく。

◆具体的産業活動に対する支援

- 6次化支援（(仮称)ゆのまえの食と農を考える会)
各地で6次化の取り組みが色々と進められているが、まずは「地域としての当該事業に関する意識の醸成」に向け、主にインターネットを活用した販売戦略・広報戦略等に関するワークショップ等の事業を実施していく。

添田町活動概要(フェーズ1)

- ◆添田町情報化推進勉強会設置
- ◆タウンミーティング実施
- ◆インターネット教室開催（公民館10箇所）
- ◆住民アンケート実施
- ◆普及啓発イベント実施
- ◆町イベント（英彦山サイクルタイムトライアル大会）動画配信体験実験



＊地域関係者に対する勉強会活動の認知・理解
＊次年度以降の活動内容のターゲットニング

添田町活動概要(フェーズ2)

平成25年度活動計画主要項目

- ◆インターネット教室継続開催
公民館単位での小規模人数対象の体験教室を継続実施
- ◆インターネット利用相談窓口の開設
(自治区単位で) 要望に応じ、出張型の利用相談窓口業務を新設
- ◆ゆるキャラを活用したインターネットフォトコンテストの試験実施
添田町のゆるキャラを写真の中に取り込んだ作品をインターネット上で投稿、ソーシャルメディアに展開していくフォトコンテストを試験実施
<http://www.kiai.gr.jp/photo-con/soeda/h25/index.html>
- ◆英彦山サイクリング大会インターネット中継
今後、地元実行委員会で本事業が継続できるような仕組み、体制を検討
- ◆商工会若手職員に対するソーシャルメディア活用情報発信ワークショップ
座学ではなく、ワークショップ形式で、定期的に情報発信関連のワークショップ事業を実施
- ◆近隣大学学生と連携した地域課題解決ワークショップ
KIAIが毎年開催している「九州ICTオープンスクール」の添田版(添田町近隣の大学をターゲット)を実施
*九州ICTオープンスクール
九州各県の大学生を一同を地域に集め、当該地域の様々な課題に対して、学生自身の目線、知見で解決策を企画していく合宿形式のワークショップ(25年度は湯前町で開催予定)

